



令和7年度 地域研修（富山県）の様子

令和8年度「防災スペシャリスト養成」 地域研修（福井県）

「防災スペシャリスト養成研修・地域研修」：<https://bousai-sp.go.jp/>
内閣府が実施する都道府県・市町村職員等向けの防災人材育成プログラム

応援・受援業務を学び、次の災害へ備える

本研修は、市町村や県の応援・受援調整担当職員、災害時に被災地へ応援派遣される職員の方々を対象にしています。
研修を通じて、災害時の市町村や県の応援・受援業務の役割を理解し、
避難生活支援業務及び被災者生活再建支援業務を実施できる職員の育成を目的としています。

オンデマンド 講義

業務に必要な基礎知識を学ぶ

令和8年 6月22日（月）

～令和8年 7月22日（水）

※ 受講には、インターネットに接続されたPCやタブレットが必要です。
受講者ご自身でご準備ください。



対面 演習

班単位でワークシートを通じて業務を体験する

令和8年 7月23日（木）10:30～17:00

※時間は多少前後する可能性があります。

福井県庁地下1階 正庁

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号

申込
期限

令和8年 6月8日（月）

※ 申込方法は別添の募集要項をご覧ください。

開催
概要

約1ヶ月のオンデマンド講義期間中に講義動画を
視聴し、約1日の対面演習を受講いただきます。
研修カリキュラムは次ページ参照。

受講者の声（R7年度アンケートから）

- 非常にボリュームのある内容でしたが、コンパクトかつ実践的に学べる講座を提供いただき、ありがとうございました。通常業務の合間に、今後も自己研鑽を継続していきたい。
- 目の前の業務にばかり目が行きがちですが、災害経験がない我々職員に最も求められているものは、非常時における指揮監督力と対応力だと思います。今回のような過去に実際に起こった災害事例を通じて、知識・理解を深めていくことは非常に有意義であり、重要であると感じました。

- 現場の実情を知ることができ、よい経験になりました。
- 全般を通して、大変 became になったと思います。自市においても、手付かずだった問題点が見えてきたので、行動に移したいと思っています。
- 災害対応について、自分がいかに知識（経験）不足であるか見直す機会になりました。
- 内容が濃く、防災担当1年目からしたら広い知識を得られる場になったと思います。
- 一昨年に豪雨災害を経験し、災害の怖さは知っていたつもりですが、事前に受援計画を作る必要性をしっかりと学べた。

地域研修とは

内閣府（防災）では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

その一環である地域研修は、災害対応能力の一層の向上、地域内の人的ネットワークの形成の促進等を目的に、都道府県と内閣府（防災）の共催で開催します。

対面演習・当日参加

形式	地域研修における位置づけ	学習目標
あいさつ	はじめに	・ 本日の研修の意義を理解する
		・ 本日の研修の実施体制を説明する
		・ 本日の研修の流れを理解する
プレゼン	前提・背景を知る	・ 現在の応援受援の枠組みをおさらいする
・ 応援受援の考えるべきポイントを知る		
班ワーク		・ 地域特性と地域からのメンバーを知る
		・ 災害規模によって、庁内応援/県内応援/県外応援の範囲を想定する
休憩		
班ワーク	前提・背景を知る	・ 地域防災計画における災害対応業務の中から応援受援の対象業務を想定する
		・ 受援班体制における機能・役割分担を想定・検討する
昼休み		
プレゼン	演習の進め方	・ 演習の目的と演習シートの使い方を理解できる
班ワーク	業務を知る	・ 災害発生前後に必要な行政の対応の流れを具体的に説明できる
		・ 受援計画の作成方法と留意点を説明できる
休憩		
班ワーク	業務を知る	・ 受援計画の作成方法と留意点を説明できる
		・ 災害発生前後に必要な行政の対応の流れを具体的に説明できる
休憩		
ふりかえり	演習をふりかえる	・ 演習をふりかえる
休憩		
プレゼン	実災害を知る	・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する
		・ 日頃からの「備え」につなげることを認識する
ふりかえり	応援受援業務をふりかえる	・ 専門家から今日をふりかえる
あいさつ	あいさつ	・ 本日参加の意義と参加の謝意を伝える

開始…10時半
終了…17時

オンデマンド講義・事前学習

必須/選択	地域研修における位置づけ	学習目標	必須…255分 選択…65分 程度
選択	防災の基本的体制の基礎知識	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる	
		・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる	
		・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる	
必須	地域特性	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる	
	受援計画の全体像	・受援体制整備の必要性について説明できる	
		・外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる	
		・受援計画の中で整備すべき項目について説明できる	
	応援職員派遣	・応急対策職員派遣制度の概要について説明できる	
		・総括支援チームの役割について説明できる	
	地方公共団体間の相互応援と受援体制	・応援職員の力を活かすために必要な体制について説明できる	
		・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる	
		・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる	
		・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる	
	応援受援業務の基礎知識	・避難所の設置主体や役割を説明できる	
		・発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる	
		・発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる	
		・災害廃棄物処理の概要について説明できる	
	インフラ復旧の概要	・被害認定調査・罹災証明書の概要について説明できる	
		・災害復旧事業の概要を説明できる	
		・原形復旧と改良復旧の違いを説明できる	
選択	災害ケースマネジメントの概要	・地方公共団体の現状及び支援状況を説明できる	
		・デジタル技術の活用に関する取組状況を説明できる	
		・災害ケースマネジメントとはなにか、主要なポイントを説明できる	
		・災害ケースマネジメントの取組の大まかな流れを説明できる	
		・平時からどのような準備が必要か説明できる	

コーディネーター
【プロフィール】

関西大学 社会安全学部 教授
越山 健治氏

1995年神戸大学工学部卒。1997年同修了。神戸大学助手、人と防災未来センター研究員などを経て、2010年より現職。専門は都市防災、復興計画、地域安全計画。災害による被害発生リスク評価手法の開発、社会脆弱性改善への地域社会へのアプローチ、都市空間全体のマネジメントによる災害被害軽減手法の提案などを実施している。